



森ボラ 通信

第 189 号 2018 年 2 月 20 日発行

NPO 法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 9-6 ラルズビル 3F
Tel. (fax.): (011) 816 - 7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆安全講習会実技編を実施

2018・1・10/澄川都市環境林・参加者 18 名

森林ボランティアの活動はいろんな場面に遭遇するので座学で基本を学ぶとともに実技編が大事です。また今年新しく座学で学んだテーマの「活動が自然に与えるインパクト」もすぐに実践に移さねばなりません。ここではトイレは設備しており湿地を歩かないことと保存林を歩かないことがまず重要留意事項となります。

さて 1 月 10 日は今年の活動初日で恒例の除雪から始まりましたが積雪は例年の半分以下で活動開始時間前に終わりました。



1. 太い木の造材

新しい上流橋を除雪しながら A3 地区に上り林道に差掛る胸高 40cm ほどの枯れた栗の木を使って伐木講習を行いました。複雑な曲がりのために離れた場所からチルホールで倒す計画でしたが芯腐れのために追い伐り中に倒れてしまいました。これも実技の安全講習のいい経験となりました。

なお狙った伐倒方向に倒れましたので受け口切りは正しかった証明です。受け口の深さや傾斜の上に立っての玉伐りなど皆さん正しい答え、動作でした。

尚また、現場からの帰り道に枯れ木の処理 2 本とキャリコ橋の除雪も行いました。

2. 落枝処理

昨年の低気圧の風で第二物置の隣のヤナギの木の枝が折れかかって路上に差し掛かっています。二又木の片方にワイヤーをかけて高枝鋸で切り込みを入れてチルホールで引く予定が切込み中に折れてしまいました。



ヤナギのもろさなどまだまだ経験を積む必要があります。チルホールは木から離れて作業ができる安全な道具で懸かり木処理など今後も活用してゆきたい。最後に焚火を囲みながら質疑応答を行いました。

その中で労働基準局長からの安全に関するガイドラインの鼻緒伐りの説明をしました。裂けやすい木はこの追いつる切りは有効な手段だと思います。(文・酒井)

注：酒井は齢につき口頭説明のみで各会員が実技を行いました。

活動報告

◆各活動地の生長調査から

2017 年度の各地の生長調査結果をまとめましたので報告します。図-1 はコンサの森、復興の森及

び野幌のトドマツ植栽後の樹高、確認率を年数毎にまとめました。このグラフからは以下の事が考えられます。

①支笏湖周辺の活動地より野幌のトドマツの生長が優れている。これは土壌養分の違いと思われる。

②植栽後 7, 8 年目までは生長が遅いがその後生長が早まる。下草刈りはこの時期まで必要と思われる。

③生存確認率は支笏湖周辺では 90%程を維持しているが、野幌は徐々に下がり 25%程になりました。これはこの地区の地下水位が高く根が腐って来ていると思われる。

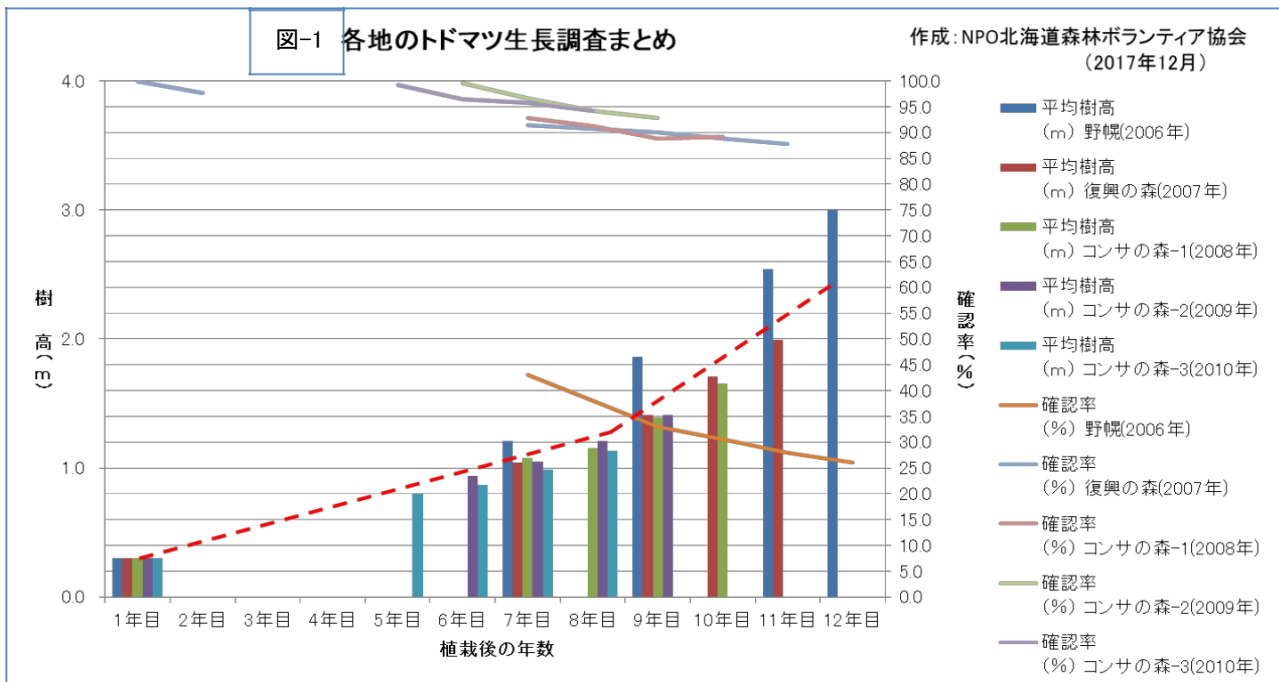


図-2 は各地の ha 当り本数・材積を示しました。①澄川樹木園の ha 当り本数は 800~1,000 本、材積は 200~250 m³と現時点では安定していると考えます。

②澄川モナク`地は調査面積が 100 m²と小さいことから必ずしも林相全体を表していないと思います。

③有明モナク`地は大きな樹木が 4 本残り、ha 当り本数は 400 本と最終目標に近い値ですが、笹竹を刈った後のギャップ地への周辺母樹からの落種による萌芽が期待されます。

④「屈足の森」は会員所有のアカエゾマツ 30 年生植栽地で他の地区とは比較できませんが、ha 当り本数が若干多く間伐時期を迎えていると思われる。

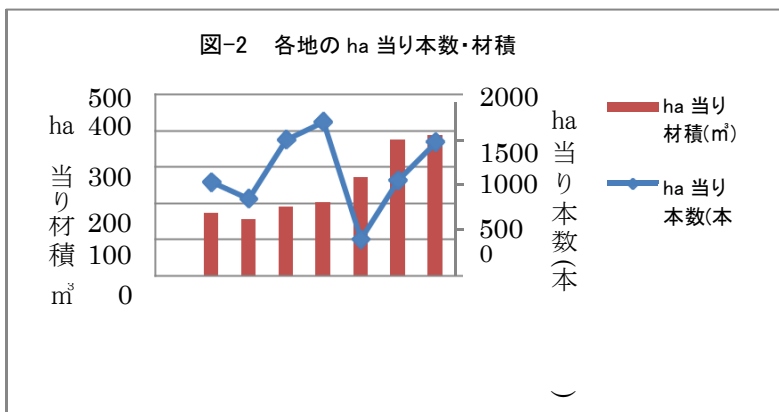


図-3 は 6 年ぶりに毎木調査を行った、澄川 A-2 区第 1 樹木園の ha 当り本数と材積の経年変化を示します。ここは 2011 年に澄川の整理伐後のあるべき姿を具体的に示すために、20%程の間伐率としました。今年度は残っている樹木にアルミプレートをつけて胸高直径を計測しました。図から以下の事が読み取れます。

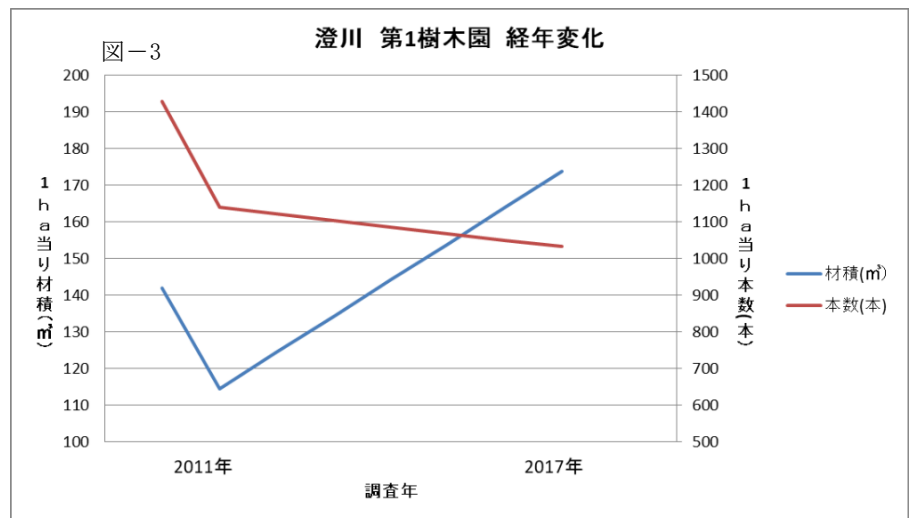
①ha 当り本数は 2011 年に 20%程の伐採後に、風による倒木や枯損により 100 本程が自然減少しました。

②ha 当り材積では 2011 年に約 20%の整理伐後に、根や葉の栄養が樹木に十分に行き届き、計測手

法に一部の違いはありますが、6年後の材積は約1.9倍に生長しました。

これからも会員皆様の協力により生長調査を継続的に行い、森林の推移を見守りながら今後の森林保育・保全活動に活用していきたいと考えています。

(文・樫棒)



◆1月セミナー〈現場における安全講習—札幌市防災協会〉

1月18日の冬季セミナーは普段我々が活動現場で遭遇する危険から身を守るための安全講習を札幌市防災協会にお願いしました。防火防災・救命指導専門員の藤原氏が講師として多岐に渡り90分間のご講演でした。



協会からは使う頻度の高い機器類（チルホール、チェーンソー、刈払機、家庭用電動具）。現場での医療事故に対する対処法（蜂刺され、マダニ対策、転倒・骨折、熱中症）の安全講習をお願いしましたが、それに付随した高エネルギー外傷、新しい傷のケアの考え方、心肺蘇生に繋がる AED の使い方等の講演でした。

現場で実際に遭った事例とその対処方法を、スライドを使ってのお話はアット云う間の90分でした。それぞれの項目に沿って

要約しましたので報告します。

項目毎に簡単な箇条書きですので、詳しく書いた発表原稿とスライド、動画は事務局に保管しています。希望者にはお配りしますので申し出て下さい。①チルホールによる伐採：牽引方向と倒木方向を確認して予想される倒木方向には立ち入らない・・・

木の重心方向に対して反対180度方向への立ち入り。②チェーンソーによる事故は大怪我に繋がるので防護衣の着装の励行。プッシュバック、プールイン、キックバックへの認識。

③刈払機：刈り幅は1.5m。往復刈りは禁止。キックバック（刃物の右側）。

④蜂刺され：蜂を見たら姿勢を低くしてすぐその場から離れる。刺されたら傷口を洗い毒を絞り出す（口では絶対に吸わない）患部に抗ヒスタミン軟膏の塗布と冷やす。出来るだけ速やかに医療機関受診。

⑤ダニ媒介脳炎：ダニから身を守る服装（顔、腕、足、首の露出を少なく）。国内で入手出来る忌避剤としてはディートやイカリジンがあります。刺されてからの初期段階で熱・だるさ・食欲低下・吐き気・腹痛・下痢・頭痛・筋肉痛・風邪に似た症状が出ます。

⑥高い処からの転落事故：現場での症状悪化の防止として頭部を動かさない様にして、早急に救急車を要請。

⑦止血法：応急的には患部に清潔なガーゼを巻きビニール袋を付けて直接圧迫止血をする。

⑧現場で出来る傷の応急処置：ペットボトルの水で洗浄⇒患部にワセリンを塗ってラップで覆う⇒保護のためガーゼ、包帯を当てる⇒症状により受診。

⑨熱中症の予防：水分は細胞に届くまでに30分ぐらいかかるので頻りに摂取。カフェインの入ったお茶やコーヒーは避ける（利尿作用）。

⑩心肺蘇生法：傷病者に普段の呼吸がない時は直ぐに胸骨圧迫開始して全身に血液循環。

昨年 12 月から安全講習として会員例会で酒井さん、大窪さんの安全講習座学編。1 月には酒井さんが澄川でクリとヤナキの枯損木で伐倒の現場研修。そして今回の札幌市防災協会の安全講習を含めて 3 回シリーズで行いました。我々の日常の活動で危険が潜んでいる環境や行為が予測出来る様になりましたでしょうか？又、その対処の仕方も勉強しました。危険予知の認識が広がって頂ければ幸いです。（文・事務局）

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野・矢澤・和田

1. 2018 年 3 月、4 月スケジュール・・・3 月幹事会 3 月 9 日（金）
2. 澄川基本計画骨子作成（ワーキンググループ(WG)進捗状況)・・・3 月の幹事会に報告
3. 第 6 回親子森林教室・・・2 月 18 日のスケジュールの確認
2 月 13 日シミュレーション及び準備・・・間伐木の選定と樹高、周長測定用の樹木 20 本選定
4. 2017 年度森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・12 樹種の樹名板購入
東京（2/14）で多面事例発表会のプレゼン（樫棒、釣井）
5. ダニ媒介脳炎の周辺情報・・・北大獣医学部からの情報。札幌市林業組合からの情報
6. 森林再生と環境保全推進フォーラム 2018in 北海道の概略・・・2/10 オイスカと打ち合わせ
7. 2018 年年間作業計画・・・微調整して 3 月の幹事会で正式決定
8. 冬季セミナー
2 月 14 日（水）札幌市青少年科学館 学芸員 守屋 開先生
「生き物と自然を伝える一小さな水性生物を取巻く自然を中心に」 3 月 14 日（水）北海道教育大学 名誉教授 木村方一先生
「北海道哺乳動物化石発見の歴史」
9. その他
 - ・野生動物監視カメラ活用の件・・・機種選定
 - ・2017 年 1 月会計報告

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
1 月 19 日（金）	澄川	16	E-3 地区未整理の株立ち、倒木、枯損木の整理伐
1 月 24 日（水）	澄川	19	チャンソナーメンテ・E-4 地区全員手ノコで整理伐
1 月 26 日（金）	澄川	7	物置小屋付近除雪・E-4 地区全員手ノコで整理伐
1 月 28 日（日）	澄川	12	E-4 地区全員手ノコで整理伐・玉切り集材作業
1 月 30 日（火）	澄川	22	B-3 モニタリング地整理伐・新ウインチ試運転実習
2 月 2 日（金）	ラルズビル	13	幹事会
2 月 3 日（土）	澄川	13	E-4 地区チェンソー3 班で整理伐・鎌研ぎ
2 月 6 日（火）	澄川	17	澄川南小 4 年生化粧炭作り体験・E-4 地区整理間伐
2 月 8 日（木）	澄川	15	ポータブルウインチ初使用・野生動物監視カメラ設置
2 月 13 日（火）	澄川	13	E-4 整理間伐・親子森林教室準備（B-3）
2 月 14 日（水）	澄川	17	冬季セミナー（会員例会・守屋先生講演）